

2007年JHF理事会議事録

日 時： 2007年7月4日(水) 11:00～16:00

場 所： JHF事務局会議室（豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 城 涼一 議事録署名人： 荒井健雄 内田孝也

2. 定足数確認

出席者：出席 【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 狩野智子 菊池守男
下村孝一 城 涼一 松田保子

【監事】市川 孝

欠席 監事 尾馬和也

(出席理事8名。今理事会は定足数を満たし成立した。)

(萩原理事は、選挙期間中の5月に結婚し、新しい姓で活動すると表明した。)

3. 新理事/監事の抱負

松田理事： JHFや事務局の業務を出来るだけあるべき姿に近づけたい。それから簡易版ではなく、会員の手元に直接届くJHFレポートを復活させたい。

城理事： JHFの運営の透明度を高めたい。そのために議事録なども早い段階で出せる様、改善を図りたい。また事業を行ううえで、第三者から馴れ合いと思われる事が無いようになしたい。さらにはJHFレポートの復活と、正会員活動を支援するための援助金の確保の手立ても探っていきたい。

下村理事： フライヤー会員1万人規模でも生き残れる組織作りをしたい。

その上でフライヤーの声を大事にする。JHFレポートの発行、JPAとの話し合いも進めたい。またハング・パラグライディング以外のスカイスポーツ団体とも協調して、運営コストの節約などにもつなげたい。

菊池理事： 財政の問題に一応の目処ができ、やっと新しい課題に取り組めるようになった。今後は公益法人としての社会的な責任を自覚しながら、次のことに取り組みたい。

(ア)委員会が活動し易いような環境づくり

(イ)事故防止や教員の指導に役立つような教本作り

(ウ)都道府県連盟への助成金の確保/JHFレポートの発行

なお理事会運営については、PG教本の業務委託や会員システムの発注などの失敗を反省し、より慎重な運営をやっていきたい。

狩野理事： 体験会実施の経験を活かし、現場の感覚でお手伝いをしたい。またフライヤーが安心して飛べる環境つくりのため、安全性委員会の活動を手伝いたい。ポロジメーターやAEDなどで、JHF基準が出来れば良いと思う。JHFレポートは、フライヤーの立場から身近な存在なので、発行のお手伝いをしたい。また行政のスポーツフェスタなどを通じて一般の人に、ハング・パラグライディングを身近に感じていただけるようにしたい。

大沢理事： 1期務めた経験を踏まえて、理事会の良い所、悪い所を反省し、これから良い所だけを伸ばしていく運営していく様に努めたい。

内田理事： JHF という団体がどういう構造で、どういう風に動いているかということに関心をもっており、その確立のために全体を整理してみたい。

これまで東京都連とか選挙管理委員会、或いはハング世界選手権のチームリーダーなどを通じ、JHF についてある程度の理解はしているつもりなので、できることは何でもやっていきたい。

荒井理事： JHF への信頼が揺らぎかねないので、早めに教員更新講習会を実施していきたい。それと松田さんに頑張ってもらって、最低でも年 2 回 JHF レポートを発行し、直接フライヤーに届けたい。

市川監事： 新しい公益法人制度に備えていくつか準備しなければならない。

①公益法人の指導監督基準に沿って運営がなされているかどうか、②文部科学省担当官とのパイプづくりはできているか、③公益法人会計基準に遵守して会計業務が行われているか、④その他必要な諸規定・基準の整備である。

これらのこととを事務局と協力して整備していきたい。

4. 審議事項

第 4-1 号議案 正副会長・常任理事の選出について

総会での役員選出を受け、正副会長・常任理事の選出について話合った。
会長については、下村理事と内田理事の推薦があり、投票の結果、内田理事が会長に選任された。副会長については菊池理事以外に候補者が無く無投票で選任された。
常任理事については、荒井理事、下村理事、城理事、松田理事が推薦され、複数記名式による投票の結果、松田、城、下村の三理事が選任された。

会長 内田孝也
副会長 菊池守男
常任理事 松田保子 城涼一 下村孝一

第 4-2 号議案 2007 年パラグライディング日本選手権開催地の決定

日程：2007 年 10 月 5 日(金)～8 日(月)4 日間

開催地：岡山県新見市大佐山

採決の結果、【賛成 7 反対 0 異議 0】で提案どおり可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、菊池、下村、松田
(文書理事会の追認)

第 4-3 号議案 安全性委員会へ機器導入の将来計画の提示について諮問する

審議 4-4 号議案、審議 4-5 号議案に先立って緊急提案されたもの。
予算外の機器導入の提案に対し、個別委員会の事案として処理するのではなく、全体の事業計画と予算の執行の中で検討すべきとの問題提起を含んでいる。
後述のとおり、審議 4-4 号議案、審議 4-5 号議案の内容を修正することによって、当該提案が活かされたものとして取り下げられた。

第4－4号議案 AED(自動体外式除細動器)購入の決定を求める

討議の結果、AED(自動体外式除細動器)を購入することにし、安全性委員会にその具体的運用方法について諮問することに原案を修正した。

また予算を30万円とし、複数の見積りを入手し購入することにした。

修正案について採決し、【賛成6 反対1 異議0】で可決された。

賛成：荒井、大沢、狩野、菊池、下村、松田

反対：内田

第4－5号議案 ポロジメーター購入の決定を求める

購入の費用25万円を予算「予備費」から支出する案であったが、株式会社さんじゅうから、ポロジメーターをJHFに無償で貸与したい旨申し出があった。

その上で討議し、ポロジメーターは貸与品を使用し、その具体的運用方法について安全性委員会に諮問することに原案を修正した。

修正案について採決し、【賛成7 反対0 異議0】で可決された。

賛成：荒井、内田、大沢、狩野、菊池、下村、松田

協議事項

5－1 新理事の職務分担について

協議の結果下記のとおり決定した。

管理部

広報出版部	松田 狩野
予算編成	下村 荒井 内田
涉 外	下村 菊池 城

企画部

国際技能記章	内田 菊池
レジャー航空無線	大沢

専門部

CIVL 海外	内田 大沢
パラグライディング競技委員会	荒井 大沢
ハンググライディング競技委員会	大沢
補助動力委員会	菊池 内田
教員・スクール事業委員会	荒井 大沢 菊池
安全性委員会	城 菊池 狩野
制度委員会	城 内田

5－2 神奈川県連普及事業の援助申請

援助申請3件のうち、無料体験会についてはJHFの支援が必要との意見が多数を占めた。既に今年度の予算は確定しているが、予備費からどの程度支出できるか、対象となる都道府県連盟への配分方法や実施時期について次回理事会で話合うことにした。

本件は4月に受領したのち、6月通常総会での今年度予算の審議可決を経ているため、都道府県事業費の配分による援助金額について理解を求める回答書を作成し、送付することとした。その際、神奈川県連の申し入れをきっかけに上記の普及活動予算の復活を検討する旨表明することにする。

5-3 JHF2007年6月総会/青森県連からの要望書への対応

6月総会で、古川理事長が直接質問し、理事会として回答したものではあるが、新理事会に申し送りすることになっていたため、協議事項として取り上げた。

協議の結果、青森県連の要望は十分理解できるので、今後は出来るだけ要望に沿うようにと回答することになった。但し役員辞任に関連する要望については、既に回答した内容を確認するとともに、青森県連に理解を求めることにした。

事務局でこの旨文案を作成し、メールで各理事の了解を得て回答することにした。

5-4 2010年パラグライディングアジア選手権誘致活動計画

北野理事が退任したため、今後は大沢理事が窓口に当たることになった。また現地準備委員会から定期的に文書で報告を受け、フォローすることにした。

報告事項

6-1 現金預金郵便振替等残高明細

事務局から別紙のとおり報告した。
収支の改善に目処がついたので、今後はこれまでの予算収支：進捗管理表に代えてこの明細書で資金管理を確認することにした。

6-2 秋田わか杉国体への参加協力要請について

参加呼びかけを、JHF ウェブサイトのトピックスとスクール・クラブ通信に掲載することにした。

6-3 旅費精算方法について

事務局から、役員・委員の傷害保険、出張申請/申告書、経費精算明細書、支払依頼書等について説明した。

6-4 その他

- 1) JHF レポート：発行回数と予算について、松田常任理事が次回理事会に提案する。
- 2) PG教本：7/17-18、パラグライディング教本編集会議を開催する。
- 3) 理事会日程： 定例理事会を9/5（水）、11/17（土）、1/23（水）、3/12（水）、5/12（月）いずれも12:00～17:00とし、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- 4) 制度総覧・理事必携を配布し、理事会運営要項を確認した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(城 涼一)

署名人

(荒井健雄)

署名人

(内田孝也)

記録作成人：桜井加代子